

Panasonic PLC 通信ライブラリ (FpCom.dll)

1. 概要

Panasonic 社製 FP シリーズ用通信ライブラリです。

2. オプションパラメータ

パラメータ	設定値	デフォルト値	説明
ExtensionHeader	0:無効 1:有効	0	拡張ヘッダ
StationNo	0-99	0	送り先
ReadMaxSize	1-128	128	1 コマンドで実行できる読み込み最大点数
WriteMaxSize	1-128	128	1 コマンドで実行できる書き込み最大点数

※ 最大点数を超える処理を実行した場合、PLC ライブラリ内部で複数の通信に分割して処理されます。

3. LAN 通信用パラメータ

パラメータ	設定値	デフォルト値	説明
EtlanHeader	0:無し 1:有り	1	ET-LAN 通信ヘッダ有無
EtlanSourceNo	1-64	1	ET-LAN 送信元局番
EtlanDestNo	1-64	1	ET-LAN 送信先局番

4. オプションパラメータ設定例

パラメータは“パラメータ=設定値”の書式で複数設定するときはセミコロン(;)で区切って設定します。

シリアル通信

ExtensionHeader=0;StationNo=0

LAN 通信

ExtensionHeader=0;StationNo=0;EtlanHeader=1;EtlanSourceNo=0;EtlanDestNo=0

※ 省略したパラメータはデフォルト値が設定されます。

5. 対応デバイス

本ライブラリで指定できるデバイス名とアドレスは下記の表を参照してください。

デバイス名	種別	アドレス番号
X	Bit	*1
Y	Bit	*1
R	Bit	*1
L	Bit	*1
T	Bit	10 進数値
C	Bit	10 進数値
DT	Word	10 進数値
LD	Word	10 進数値
FL	Word	10 進数値
WX	Word	10 進数値
WY	Word	10 進数値
WR	Word	10 進数値

*1

X/Y/R/L ビットデバイスを使用するときはデータ型を Bit2 型に設定してください。
アドレスの下 2 桁部分でビット位置を指定します。

例 1) X11 にアクセスする場合

デバイスに X を設定し、アドレスは 101 を設定する。

例 2) Y1F にアクセスする場合

デバイスに Y を設定し、アドレスは 115 を設定する。